

# 週刊 明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2019.6.9 通巻No.1424

日本共産党 小矢部市委員会

市内七社 245  
Tel 67-4322  
Fax 67-4842

何でも  
ご相談を



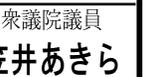
市議会議員  
砂田喜昭  
Tel 67-4322



参議院議員  
井上哲士



参議院議員  
たけだ良介



衆議院議員  
藤野保史



衆議院議員  
笠井あきら

禁無断転載  
複写配布

## 共産党の県交渉その3

5月15日、17日に行った日本共産党富山県地方議員団による県交渉の続報です。

### 【要望】東部小学校前歩道の段差解消を

【道路課】 昨年度から歩道の段差解消工事に着手した。区間延長が結構あるので、引き続き工事を進めていく。工事中は地元のみなさまにご迷惑をかけるが、ご協力をお願いしたい。

### 【要望】興法寺から安居への県道に歩道を

【道路課】 興法寺から安居までの区間について、2年程前には現道を拡幅する方向で路肩拡幅と考えていたが、地滑り地帯なので、今後どんな方法にするか検討していきたい。

### 【要望】県道小矢部福光線の小森谷公民館から松本建材までの歩道設置、拡幅をひきつづき計画的に促進すること

【道路課】 いま用地補償を進めているところである。今年度は田2枚ほど工事できないかと考えている。

### 【要望】能越道高岡インター出口交差点の改良を

能越自動車道の高岡インターから8号線に接続する交差点について、早急に交差点改良にとりくむこと。高岡方面から能越自動車道に乗る右折レーンが混雑している。

【道路課】 今年度国土交通省によって、福田六家立体という名前前で立体交差の事業化になった。これから設計に入るが、県がやっている高岡環状道路整備とあわせて、この地域の交通円滑化につながるのかなど期待している。地元説明会もあるので、ぜひご協力をお願いする。



道路問題で要望する砂田市議(右端)、手前は地図を確認する道路課職員

## 市議会行政視察 砂田市議の感想

市議会総務産業建設常任委員会は5月13日から15日まで、川崎市、栃木市、久喜市を行政視察に訪れました。砂田市議もその一員として参加しましたので、その感想をお知らせします。

### 神奈川県川崎市

#### 市役所内部の「働き方・仕事の進め方改革」

長時間労働を是正するため、出勤時間を管理職も含めてICカードを利用して把握し、時間オーバーになりそうになったら指摘するシステムを導入している。小矢部市としてもこのような仕組みを取り入れるべきだと思った。

女性の管理職は20.8%、課長級23.8%であり、小矢部市と比べると進んでいた。女性職員のキャリア支援を目的とした研修を行ったり、副市長との話し合いの場を持つて意見交換を行ったりしている取り組みを、小矢部市も学ぶ必要を感じた。

男性職員の育児休暇は、短期間であるが取られていた。しかし、1年間の育児休暇というのは女性だけだった。この解決は全国的な課題である。



### 栃木県栃木市

#### 空き家対策事業

空き家対策は個人財産でもあり、なかなか難しいが、栃木市の空き家バンクから、ヒントを得たい。

使える空き家は活用するというので、空き家バンクに登録すればリフォーム助成がもらえる。空き家を活用した移住促進事業(お試しに一定期間住んでみる)は東京に近いこともあって、よく利用されていた。空き家バンクに登録したら、その1件ずつに担当不動産業者をつけるというのは、活用促進策になると思った。

再利用できない空き家は解体して跡地を活用することだが、土地がバラバラに散在していたら、活用しにくいかも知れないと思った。

空き家をうまくない対策としては、東京1極集中を是正する抜本的な政策が重要であり、日本共産党が提唱するように全国一律で、時給千円の最低賃金を実現すること、農林水産業への抜本的支援、価格保障・所得補償が欠かせないと思った。



### 埼玉県久喜市

#### シティプロモーション

シティプロモーションとは市の特徴を見だし、それをアピールすることだ。1市3町が合併してきた久喜市では、各地域の花と祭を特徴として生かしていたが、その背景には農業など地場産業とのしつかりした結びつきがあった。自分たちの地域の特徴を見だし生かしていたことは、学ぶべきことだ。

川崎市の働き方改革で触れた女性管理職に関して、係長が女性で、その部下として男性が働いていたが、それぞれの個性を生かしながら役割を立派に果たしているように見える。このようなことも市の活性化につながると思う。